徳地町報

発行所
徳地町役場
発行者
坂本諦介
編集者
河村績
印刷所
今澄印刷所

災害に備え
豊作をかちとろう

臨時町議会開かれ
一億四千六百万円
更正予算など議決せらる

本年度臨時第1回徳地町議会は八月九日午前九時半より出雲公民館に於て開かれた。当日全議員出席、町よりは伊藤町長、坂本、長嶺両助役及び各参与出席して、町長提出の次の議案について慎重審議の結果原案通り可決々定した。引続き全員協議会に移り、柚野地区公会堂建設に対する地元有志の陳情を聴取した後改正地方自治法に基く常任委員会の運営について協議決定の上、午后四時閉会した。

提出議案

(1)徳地町議会定例会に関する条例設定について。定例会を毎年3・6・9・12の四回開くことを規定したもの。

(2)徳地町議会議員選挙区設定条例中一部改正について。大字串山の鹿野町えの分離によつて串地区の定員を一名減員した条例。

(3)土地購入について。図書館、三谷小学校運動場敷地及大原湖観光用地として台根の土地購入に関するもの

(4)土地売却について。三谷小学校運動場用地として売買交換をするもの。

(5)徳地町税条例の一部を改正する条例について。地方税法の改正に伴う町条例の一部改正に関するもの。

(6)町有林立木売却につき町議会の承認を求めることについて。

(7)昭和三十一年度徳地町一般会計才入才出追加更正予算について一般会計才入才出共合計一億四千六百五拾万円となり、当初予算より二千三百万円の増加となるわけである。

(8)昭和三十一年度徳地町特別会計国民健康保険才入才出追加更正予算について。

(9)内水面区画漁業権の免許申請について。大原湖の全水域に於いて徳地町主体の区画漁業権の免許を受け経営せんとするもの。

われらの選良
法律研修に大はり切り

町議会事務局では七月十六、七の両日出雲公民館に於いて、県地方課の山本主事を講師として、改正地方自治法の研修会を開いた。終始かわらぬ真面目な勉強ぶりや態度などさすが町制施行后初のわれらの代表として選出された人たちだけあると感心させられるものがあつた。

（写真は白石山キャンプに於ける娯楽風景）

4H活動の綜合研究
周防部代表の野外訓練

単に農村だけでなく広く社会全般の中でも健全な青少年活動はよりよい社会の建設の上から言つて常にその中心又は推進的な役割りを持つものといえましよう。

こうした青年たちの自主団結の組織である4Hクラブ周防部の代表たちは将来その活動を一層新生運動と直結して、ますます建設的生産的方向をめざして展開する目的のもとに八月五日から七日までの三日間徳地町八坂の白石山にキャンプ生活を行つて野外訓練を行いました。

この訓練では智性、徳性、身体の訓練をはじめ、各種の研究発表、競技、討議、講演など多様の行事が行われ、百余名の若人たちはそれぞれの感激と収穫を胸に元気一杯に山を下り、引谷小学校で解散しました。

大原湖に注ぐ郷土愛
聖汗流す佐波高生

佐波高校農業科の学生さんは兼ねてから夏期休暇中の数日を郷土の限りない恩愛に感謝し、町民全体えの奉仕となり、かつ郷土の建設発展に少しでもお手伝できるような有意義な仕事をやろうではないかという自発的な思いつきで、いろいろ協議中であつた。学校当局も学生のこの申出に対して積極的に援助の手をさしのべ研究と討議の末その手始めとして七月三十一日全科男学生六十余名は早朝より徳地町野谷の大原湖洞門附近に集合して、町長、柚野支所長等の激励を受けて大原湖周辺の雑木、雑草切りに、焼きつくような炎天を物ともしないで一日を神聖な労仂に汗を流して一生懸命仂いたのであつた。

私達も次代を背負う若人たちのこのもえるような郷土愛と奉仕の精神に感謝と激励を贈ろうではありませんか。

明日の幸のために

地財再建法により県が財政の建てなおしをやりだすと税金等の負担が大巾にふえはしないかと心配される人がおられますが、とんでもないことです十億円の赤字整理もこの法律の適用を受けて行えば県だけの力でするより容易でその上負担も少くてできるのです。適用をうければ赤字を埋めるのに公債の発行がで、国から多額の補助もありますので、五年目には黒字となります。

同じ程度に県だけの力ですれば遂に十五億円以上に赤字が増える計算です。

こういうわけで再建に当つても①県税を引きあげたり、②災害復旧工事をやめる必要はなく③公共事業、民生安定新生運動等の産業振興事業も無理をせずにやれる見透しがついています。

しかし①県の機構を簡素にして職員もなるべく少くし、②学校の先生も生徒数の減少に応じて将来へらすことになりますが三十一年度の教育水準は守つて、学校教育をくずすようなことは考えられていません。③また高校の授業料等は他県並に是正されますが、大巾に上げることはありません。県財政再建もいよいよ軌道にのつてきましたがこれはもとより容易なわざではありません。

明日の県政発展のために御協力をお願いいたします。

（山口県々民室たより）

気転と人工呼吸法で人命救助の
中学生の話

八月二日午后四時頃のできごとで徳地町大字野谷字横山の沖を流れている佐波川本流のかんがい用水えん堤の上で魚釣りをしていた仝地区大土路山根三樹君（阿東町地福小学校四年生）が誤つて足をすべらし深さ二丈位の水中に落ちこみましたが仝君は全く泳ぎを知らなかつたので、そのまま水中深く沈んでしまつたわけである。

附近で水泳中これを目撃した柚野中学校一年生の伊藤正治、原日出男仝三年生伊藤征夫の三君が急を知つてかけつけ附近にあつた松丸太を利用して水中から引き上げ漸く岸に運んで来た時は山根君は全く仮死の状態になつていました。

伊藤君たちは家族に急報するとともにかねて習い覚えた「ニルセン式人工呼吸法」を代る代る行うこと二百余回ついに山根君は息をふき返し、ほんとうに九死に一生を得たのでした。

この大人も及ばぬ臨機の措置をよく落ちついて順序よく運んで、貴い人命を救助した伊藤君たち三名の行動はほんとうに貴いもので、そのおてがらは一般大人の人のお手本としても立派なものです。尚町内に仝様の人命救助が三件もありましたがこれらの人たちの功績は近く関係方面から表彰の手続がとられるとの事です。

佐波川ダムの放流は
サイレンで予告します

先頃部落駐在員の方を通じてお知らせして置きました通り、近く発電が開始される予定ですが、発電が始まると、毎秒当り八立方米（八トン）の水が発電所を通じて流されることになります。

この外ダム直接管理者である佐波川利水綜合事務所では、佐波川ダム（多目的ダム）の重要目的である防災の目的を達するために、気象、天候の状況によつては、予備放流といつて、洪水を調節するために貯水位を予め下げておいてこれを徐々に流下して、下流の洪水災害を防止する目的のためにえん堤から貯水を放流することもあるわけです。

しかし発電所を通じて常時流される以外に直接えん堤を操作して放流した場合下流地域で、不測の増水のため人身に事故を起さないとも限りませんので、こうした不時の放流の場合には、予め下流々域の皆様にサイレンを鳴らして予告することになりました。

サイレンの信号は

即ち一分間鳴らして、一〇秒休み又一分間鳴らして、今度は三十秒の間を置いて、一分間吹鳴一〇秒休んで一分間吹鳴するわけですこの信号のサイレンはえん堤を操作する三時間前に鳴らしますのでふだんから火事のイサレンと間違えないよう注意して下さい。

一分間吹鳴　10秒休止　一分間吹鳴　三十秒休止　一分間吹鳴　10秒休止　一分間吹鳴

サイレンを鳴らす場所は

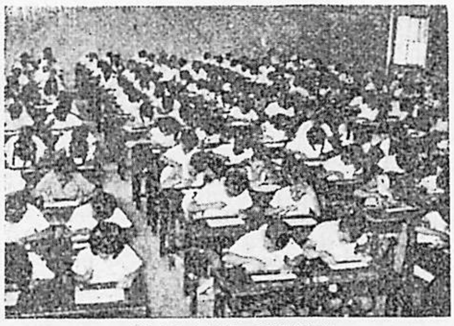
1. 佐波川利水綜合事務所（野谷）
2. 八坂支所のサイレン
3. 八坂地区船路のサイレン
4. 徳地町役場のサイレン

の四箇所です。

水の速さと水位

今かりにダムと発電所と両方から計十六トン（毎秒）の水を流すとしますと、大体堀の合橋の所で水位が二十糎位上りましよう。

又そこに達するまでの時間は大体一時間から一時間半位と予想せられますので、将来このサイレンを聞かれたなら口から耳えでも知らない方に注意して、このために大切なお子様方が水泳中に事故をおこしたり、その他大人の人も不測の事故のため尊い人命を失う事などないようお互が注意と協力を致しましよう。


（熱心な小学生の受講状況）

熱心な技能習得
超満員の珠算講習会

徳地町教育委員会では、七月二十二日から仝二十八日までの一週間にわたつて、山口県珠算教育振興会の河本康雄先生を講師に珠算講習会を開きました。講習を受けた人は小、中、高校生及び一般の方など四五一名の多数に上り非常な盛会でした。講習が終つて翌二十九日には六級の検定試験が行われましたが受験者一六〇名で合格者八五名（五三％）でこれも今迄にない好成績を収めました。近頃行われているいろいろの講習会などは終りになるほど受講者が減つてくるのが普通ですが、この珠算講習はだんだん受講者が増えるという盛況で、講師や関係者は汗だくだくで張り切つてやつていました。

このような現象は私達の社会生活特に職場や就職に際して、珠算技術が大きな作用をしていることによつて、学生層は勿論一般に珠算に対する関心が昂まつてきたものといえましよう。

赤痢疫痢が発生
飲食物に注意が肝要

現在まで町内で赤痢患者が八世帯十四名、疫痢三名（内一名死亡）がでています。

特に夏中は誰でも身体に気をつけますが、だんだん涼しくなるにつれ心に弛ができて、不注意から食中毒をおこしたり、従つて赤痢疫痢なども多く発生していることは過去の歴史が証明しています。

お子様方の食物、寝冷など特に気をつけましよう。

日本脳炎の疑似症発生

島地々区に日本脳炎の疑似患者一名（小学生）発生しました。

この病気は死亡率が非常に高くなおつても白痴のようになるといわれる恐しい病気ですが、主に蚊や、ハエの媒介ですので、皆んなで協同駆除に努めましよう。

予防接種は二十名以上集団で行いますので、希望の部落は御申込下さい。

◉お知らせ欄

◎幻燈機の貸し出しをします

町社会福祉協議会では、本庁及び各支所に幻燈機を備付け無料でお貸ししています。

委しいことは民生委員、各部落の福祉更生員にお聞き下さい。又出雲公民館でも公民館に備付の幻燈機の貸出しにも応じています

稔ちころう連續豊作
病虫害と今后の管理

今年は苗代期からイモチ病、ウンカ等非常に病虫害が多く憂慮されていましたが、適切な防除対策と天候の回復と相まつて現在の稲は昨年に劣らぬ生育振りを示しているものも少くありません。しかし稲は現在穂孕期にありつゞいて出穂、開花と非常に大切な時であります。即ち水とか肥料、病虫害等の影響を最も受けやすいので特に注意して大きな重い穂ができるよう努力致しましよう。

1.水の管理　穂孕期及び出穂開花期は稲の一生を通じて最も蒸散作用の盛んな時期でこのとき水が不足すると穂が小さくなつたり不稔籾が多くなつたりする。ので注意しなければいけない。　又一般に落水の時期が早過ぎるようであるが出穂后三〇日位は落水しない方が良い。

2.肥料　既に穂肥の時期は過ぎ夫々適量施されていることと思うが肥料の効きすぎているものは病虫害の発生を招き危険であり注意せねばならない。反対に極端に肥料切れしているものも良くない。こんな田では極少量のチッソ肥料を出穂前十日頃に施すと有効な場合がある。

3.病虫害防除

(1)イモチ病　八月に入つて一時抑えられているイモチ病も出穂頃になると再び活動し始め穂首イモチの被害の意外に大きいのに驚くことが多い。特に今年は葉イモチ病が多かつたので穂首イモチ病の発生が多いと思われる。穂首イモチは発生してからでは間に合わないので是非予防的に薬剤を撒布致しましよう。

薬剤撒布の時期回数

第一回　穂孕期に有機水銀粉剤を反当四キロ撒布する。

第二回　葉イモチの多かつた田やイモチに弱い品種、肥料の効きすぎている田等では穂揃后にもう一度第一回と同様薬剤撒布を行うこと。

更に天候の状態、発生の状況に依つては撒布回数を増す必要がある。

薬剤撒布の方法

イ露のないときムラにならぬよう風力を強くして吹きつけ撒布とすること。

ロ穂首イモチの防除も集団で一斉に防除することが必要で特に出穂前の撒布は出来るだけ地域内共同で実施すること。

(2)ウンカ、夏ウンカと共に秋ウンカの発生も多いようであるから充分注意して手おくれにならぬ様BHC、マラソン等で早く防除すること。又次のニカメイチユウの防除を行えばウンカも併せ防除できます。

(3)ニカメイチユウ

一化期の被害は天候不順の為案外多く現れた。従つて二化期の被害もかなり出るものと予想されるので早急に防除体制を整えましよう防除の適期は後日普及事務所より御知らせするが大体八月二十日頃から実施する様になる予定です。使用薬剤はパラチオン剤が最も有効であるが毒性の少いBHC、EPN等を使用しても良い。何れも撒布時期がおくれると効果が非常に少くなるのでおくれないよう定められた期間に実施することが肝要です。

溪谷と林相美に映ゆる
滑山物語

現在の滑国有林は柚野、八坂両地区にまたがつて、面積二千五百余町歩素材及木材の生産は県下国有林の主座を占め、中国屈指の大森林である。

こうした大林相美を誇る滑国有林並びに全地区一帯を彩る溪谷美紅葉期の観光価値等が、手近かに佐波川ダムが建設せられ、偉大な人造湖大原湖と連帯性をもつて、大きくクローズアップされてきたのは、山の歴史、文化に新たな一ページをつづろうとしているといえよう。

それにしても滑国有林そのものが決して偶然に造りあげられたものでないこと、言いかえれば吾々の祖先の迸しい努力と数々のギセイによつて築きあげられたと言うその歴史的事実の一端をしのんでみる事にしよう。

柚野、八坂を中心とする下徳地一帯が昔から中国屈指の美林であつたことは、東大寺大仏殿再建材にまつわる幾多の史実によつて明であるが、滑山が中国一の美林として宣伝され、経営や管理保護が加えられたのは、慶長十四年（一六〇九年）毛利氏に帰属以来藩有として収められたのに始まる。

風土注進案によると当時の滑御立山は千二百十四町歩となつており、いうまでもなくお止山で、その保護管理は徳地宰判が当り、都奉行所から山方役が巡察して各役人を監督し、宰判には山方、山方手子がおつて経営管理に当つていた模様である。

滑山に植栽された樹種は主にスギ、ヒノキ、モミ、クヌギなどで昔はあまり松は植えられなかつたようである。

苗は大阪商人を経て、紀伊、吉野の植苗及び萩より運送買入れ又地苗も後には用いられるようになつた。

天明元年の記録によると「春は苗を植え、秋は実を蒔く」とありこれが普通であつたらしい。

今滑国有林中白眉の林相をほこつているものは、寛政四年（一七九二年）より文政四年（一八二一年）までに植付したスギ、ヒノキモミ、ケヤキなどの約六十万本位といわれている。

植付後の手入と保護は最も苦心したもので、枯苗の植継、下刈、蔓切り放ち、枝打ち等入念にやられたようである。

春秋の種蒔、植付量はすべて届出されたのであつた。

面白いのは林内の立木調査で、駒高回り毎に本数を計上した根帳を備え、宿場の札木や萩の明倫館備付の稽古槍の柄を伐採したときなど、根帳からこれを差引き常に現況を明かにしていることである

御止山すなわち藩用材指定林として庶民の立入を禁じ享保二年には「御立山へ入りたるものは見当り次第召捕る」よう下知し山盗人らん伐者の取締を厳重にしたのはいうまでもない。

又、山盗人を出した五人組に対して科料として植栽させることを規定した文書がある等、封建的刑罰の在り方を物語るものとして面白いものがある。

もつとも厳重に取締られたのは山火、野火による山火事であつたが、藩初以来一回の失火もなかつたようであるがこれも決して偶然ではなかつたといえよう。

お立山の材木は、普通払下げは行われず、藩用に応じて伐られ残りはそのまゝ残し置かれたので、柚木、野谷村の住民にとつてはただ立派な山林としてながめているだけで、木どころにいながら木の皮一枚自由にならず、山人足として雇われ、僅かな賃金をもらつては、渡世の足しにする位だつた。

このような厳重な制度によつて保護管理が行われて、森林造成に努力せられ、かくしておよそ三百年間藩の厳重な森林行政にはぐくまれてきた滑山も、明治維新となつて藩の手を離れて国有となつて今日に至り尚中国地方に滑国有林として重きをなしているのである

野菜作りと取り組む4Hクラブ員
――トマトも努力すれば出來る――

青枯病のためトマトが出来ないと云う人がほとんどであるが、これは病害防除や施肥管理に注意して立派に作つている実例

深谷4Hクラブ員　植木伸汎君

品種　世界一　三元交配世界一

栽植本数　四〇〇本

同じような例は島地4Hクラブ員松原博君　後藤安正君も約五〇〇本位のトマトを見事に生育結果させ連日出荷を行つている。

昭和三十一年産米予約申込一二四％

今年は植付当初に雨が多くてその生育が懸念せられていましたがその後の好天候に恵まれて非常な立ち直りを見せこの分ならとい う。豊作予想も加つてか、事前売渡申込は七月末で既に一二四％という張り切り方です。

今后も引きつずいて頑張りましよう。

31年産米事前売渡申込状況

	集荷予定量	7月31日現在申込量	予定に対する申込比率
出雲	2370石	3123石	130％
八坂	2140	2662	124
島地	2510	2929	117
串	860	884	103
柚野	170	389	229
計	8050	9987	124

播種　虫害防除管理など
秋野菜の作り方

ビタミンA及びCを自給し無機塩類の給源として大切な野菜を年中絶えず食べられるようにしてお互の健康を守つて行くための野菜の計画栽培が進められて来ると絶えず手入れや病虫害の防除などの仕事も怠らないようにしなければならないので仲々忙しいが、特にこの月から来月にかけては漬物用の野菜がどこの家でも作られるので春と共に野菜の仕事が多い。

八月から九月上旬にかけて種を播くもの

大根　八月中旬まで美濃早生大根　八月下旬　聖護院大根　九月上中旬　漬物用として山口沢庵　理想　宮重などがある。

白菜　大根には最近バイラス病が年々ふえて来ているが、大根ではバイラス病にやゝ強いものとして高倉大根があるが、この病気はアブラ虫（ヨダレ、ウラムシ）によつてうつされるのでアブラ虫の防除を徹底することが何より大切である。

白菜　新しい品種も数多く出てその選択に迷うが、先づ野崎二号京都三号が作り易く良い品種と云えよう。播種期は余り早過ぎると病虫害も多く反対に晩くなると結球不充分で品質も悪く収量も上らないが　野崎二号のような早生は早播きも出来るが、九月上旬に播いても結球するが、京都三号などは八月中に播かないといけない。

白菜は酸性に弱いので石灰を充分に施すこと、根にコブのつく「こんりう病」も酸性で水はけの悪い所に多いので、畑を良く打ち起して堆肥を充分施すこと、三年位の輪作が必要である。

結球白菜では間引が大事な仕事になるが生育につれて数回に分けて行い、甲折葉の大きいもの、色の濃いもの形の、悪いものなどを除き、本葉は葉柄の広い、色の白いもので品種の特性を具えているものを残すようにする。

害虫には心食虫（シンキリ）さるは虫（コガネ）キスジノミムシ青虫にはDDT　アブラ虫（ヨダレ、ウラムシ）にはデリス剤　マラソンなどを使う。

結球しない白菜として山東菜、千葉花心等を八月下旬に播種する。

その他の野菜、かぶ（聖護院）九月上旬　人参（国分、中村鮮紅太）を八月下旬より九月上旬　チシャ（かきちしや、ニューヨークワヤヘッド）九月中旬より、法連草は九月から十月に採るものはウ城　東光などを八月中旬から九月上旬に播種、その後に採るものは日本法連草を九月上旬より九月下旬に播種、春菊は九月から播きはじめる。

秋作馬令薯（農林一号のような休眠の短いもの）八月下旬に播種苗を植えるものではネギがあるが早く植えた方が良く八月中には苗を植え終るのが良い。

◎春野菜及び夏野菜の手入れ

長い間雨が降らずに乾燥するので夏胡瓜、茄子、ごぼう、里芋、美濃早生大根などにアブラムシが大発生して生育を妨げているので早くデリス剤やマラソンなど防除する必要がある。茄子には葉が黄色くなつたものにはアブラムシ以外に赤ダニが例外なく発生しているのでマラソン、テップ等で防除するのが良い。又茄子はほとんどテントウムシダマシ（ガラ）が発生して枯れそうになつたものもあるので、砒酸鉛（水一斗に二十匁）又はDDT乳剤二〇％（水一斗に一匁）をかけて防除する。

夏胡瓜（余蒔胡瓜）にはアブラムシとベト病が主であるからダイセイ（水一斗に十匁）又は三共ボルドー（水一斗に十二匁）を度々かける。アブラムシを兼ねて防除するときはこれらの薬にマラソンを混ぜてかける。

美濃早生大根はキスジノミムシの防除を怠るとその幼虫が根を食うので肌の汚い大根になるからDDT、BHCなどでこの虫の防除を怠らないようにする。

旱天つゞきで茄子、胡瓜、トマトなど生育が悪くなるのでシキワラを厚くするなど乾燥をつとめて防ぐようにしなければならない。

◎苗床、定植などの準備

玉ねぎの苗作りは九月二十日頃にタネを播くので早くから石灰を施して充分折ち起し土を細かくし苗床肥料を充分施して準備しておくことが必要である。

又結球白菜の移植するものは九月二十日頃に本植えをするので、植える場所は石灰を施して良く耕し、肥料も早目に施して準備しておくと良い。

◎その他

台風期をひかえて胡瓜、トマト茄子などの支柱をしつかりしておかないと、台風によつて生育が害されるので支柱の補強をしておくことが大事である。

野菜作りには特に品種を選ぶことが大切であるから、山間部に適した品種、播く時期に適した品種作り易くて収量が多く品質の良い品種を数多くの品種の中から上手に選んで、更に良い種子を求めることが野菜作りに成功する第一の条件になるから適した品種、優良な種子を手に入れることに特に注意しましよう。

殺草剤による
荒蕪地の開墾

戦時戦後にかけて荒廃に向つていた農耕地も最近再び経営合理化の面から、より高度に利用しようとする動きが起つて来たようである。

此の様に限られた経営の条件内で農外収入が圧迫を受け農業収入の増加をはかろうとする場合、限られた農地の高度利用が考えられるのも当然な事である。

荒廃や荒廃寸前にある農地（畑地）を再び耕起して、果樹そさい茶桑樹を栽培しようとする場合、相当な努力を要するものであるが此の場合に於て労力、経済の両面から考えて比較的容易に実施出来ると思われる方法に次の二つがある。

1.動力耕耘機による方法

2.薬剤により雑草木を枯死せしめ後に耕起する方法

1のは荒廃の程度や地形其の他の条件により制約を受ける場合があるので2について簡単に述べて見ると（鹿野開拓農協の資料による）

1.使用する薬剤はクロレートソーダが最も良い

2.使用する時期は七月八月九月の雑草木が良く繁茂している時期が良い

3.使用量は反当り二〇キログラムで二六〇〇円程度である

4.薬剤は水に溶かして噴霧器で撒布する

5.使用上の注意

イ使用前雑草木を刈倒さない事

ロ附近の農作物がある時は飛散しないよう注意する事

ハ一度使用して五−七日で赤く枯れはじめるから今一度見廻つて赤くなつていないところえは撒布する

ニ使用した器具は良く洗う事

此の様にして雑草木を枯死せしめ冬季間に開墾すれば枯死した根が腐敗して容易に耕起出来るとともに以後雑草等が全体に出来ず土地の高度利用も可能となり経営改善も実現出来る

薬剤は農業協同組合でお求め下さい

詳細は普及員へお相談下さい

お知らせ

◎家を建てる資金の貸付

住宅建築資金の貸付や増築資金を借りようと思う方は厚生係にお問合せ下さい。

告示

本籍、住所、氏名不詳、生後約十時間位の嬰児（女）身長五十糎、体重五百二十匁

右は八月一日徳地町大字島地下市かんがい用水路で死亡しておるのを午后六時半頃発見したから心当りの者は申し出られたい。

昭和三十一年八月八日

徳地町長　伊藤三樹三